



## 桜とキビタキ、野鳥と桜

キビタキは桜が開花してから渡来します。今年は4月27日初認、札幌での桜開花の9日後でした。開花と渡来の時期が離れていなければ、桜とキビタキの写真を撮れますが(写真上左)、桜がもう終わってから渡来する年もあるなど、年により条件が変わります。

2011年から今年までの「札幌の桜開花日」(上)と「旭山でのキビタキ初認日」(下)の表です。

2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
5/7	5/1	5/13	4/29	4/22	4/25	4/28	4/26	4/24	4/30	4/22	4/23	4/15	4/18
5/16	5/5	5/10	5/9	5/7	5/4	5/4	5/1	5/5	5/4	5/6	5/3	4/30	4/27

これを見ると、桜の開花日は早まっていて、最も遅かった2013年より、最も早かった2023年は28日も早くなっていますが、一方、キビタキの初認日のそれは19日で、桜より振れ幅は小さく、しかもキビタキは2012年から2022年の間は振れ幅が9日しかありません。

ただ、ここ3年は徐々に早まっており、この傾向が続くのかどうか今後注目されます。

●桜と野鳥：オオルリ(写真上中)、コルリ(写真上右)どちらも花が終わりかけの頃です。

メジロ(写真下左)は桜の花の蜜が大好きで寄って来ますが、鳥好きの間では、桜とメジロは「サクジロー」と呼ばれており、これは元々梅とメジロを「ウメジロー」と呼んでいたことから来ています。

ヒヨドリ(写真下中央)も桜の蜜が大好きで蜜を吸いに来ます。

ウソ(写真下右)は桜をはじめバラ科の冬芽が好物ですが、桜の花にも寄って来ます。



## レストハウス「ぼるく」通信2024年5月

暖かくなってきましたね。

旭山記念公園レストハウス【ぼるく】です。

今年も皆様のおかげで、4月12日に

無事オープンする事ができました。

5月は夜間営業は行わず、連日17時閉店となります。

今後、イベント等で営業する事もありますが、

その場合はその都度ご案内いたします。

スタッフ一同、皆さまのお越しをお待ちしております。

今年も宜しく願います。

◆フォトコンテスト募集中！

上位作品は、ポストカードとして  
ぼるくで販売させていただきます。

最優秀作品の方には  
コーヒー無料券(今期開店期間有効)  
を進呈します。

ふるってご応募  
お待ちしております！



# 旭山野鳥メモ 61 エゾムシクイ

エゾムシクイ Sakhalin leaf-warbler *Pyloscopus borealoides* スズメ目ムシクイ科

北海道では山地、本州と四国では亜高山帯で繁殖する夏鳥。

エゾと名がつくが北海道以外でも繁殖。

溪谷など岩場がある山地に生息、場所により低標高の山地でも見られ、生息環境は標高よりも地形に左右されるのかもしれない。

旭山では4月下旬～5月中旬の通過時に数日間囀りがよく聞かれるが、姿を見る機会は少ない上に、ムシクイ類は外見が似ていて識別が難しい。翼の2本の短い白い線(翼帯)が特徴ではある。

旭山では秋の記録はなく、通過している可能性もあるが確認は難しい。幌見峠で8月に囀りが聞かれたことがあり、付近で繁殖か。

札幌近郊で夏季でも見られるのはオコタンペ湖、恵庭溪谷。道内一円意外と広く多く生息している。

その囀りは「ヒーツーチャー」と甲高く金属的な響き、まるで宇宙の音のように聞こえる。聞きなしは「日月」。

囀りは分かりやすく聞く機会も多いが、彩りがきれいなわけでもなく、存在感がいまいち地味な野鳥だ。



## 2024年5月の野鳥トピックス

旭山記念公園では、シマエナガの巣についての情報にはお答えしていません。スタッフ等が巣を探すこともしていません。巣を探さないよう、そしてもし偶然シマエナガの巣を見つけてしまった場合、すぐにその場を立ち去り、以降そこには近寄らないようお願いします。

他の野鳥も巣の情報は公開していません(人に影響を及ぼす可能性のあるハシブトガラスは除く)

- シマエナガ：繁殖期に入り観察機会は少なくなっています
- ウグイス：4/7 初認「ホーホケキョ」今年は囀りをよく聞きます
- アオジ：4/10 初認今年は観察機会が多いです(昨年少なかった)
- ヤブサメ(右写真)：4/14 初認「シリシリシリ」笹藪で鳴きます
- オオルリ：4/25 初認。よく見られる場所「藻岩山登山口下」
- センダイムシクイ：4/26 今年初認「チヨチヨビー」@広葉樹
- キビタキ：4/27 初認囀り本格化は5月中旬以降になりそう
- コルリ：5/2 初認森の家の裏から旭山都市環境林の笹藪にいます
- イスカ：5月上旬まで見られていました ●マヒワ：5月上旬に20羽以上の群れが来ました
- カケス(亜種ミヤマカケス)：例年4月中旬にいらなくなります、今年は5月1日までいました



## 旭山生き物ミニ図鑑2024年5月



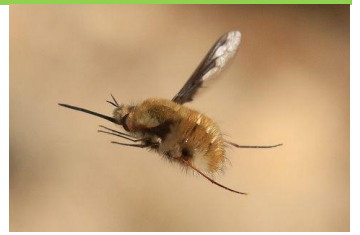
5月のエゾリスまだ耳毛が長い



エルタテハ成虫越冬する蝶



キアゲハとセイヨウタンポポ



春の昆虫ビロウドツリアブ



キタコブシ花弁を食べるエゾマイマイ



イタヤカエデの花(落下)



エゾエンゴサク



ワスレナグサ(外来種)

「アカゲラ通信」 第127号 2024(令和6)年5月5日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>

〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311(金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351



公式サイト